

第5回懇談会の内容は以下のとおりです

七尾市長・田鶴浜町長のあいさつ



今後、本区間の1日も早い開通に向けて、ルート決定・工事着手を進めて頂きたいと共に、市民の英知を集め、皆さんが納得する形で素晴らしい道路が出来ることを期待します。



新しい市のこともあり、これからの七尾地域の発展のために能越道の完成は欠かせないので、氷見-七尾間の早期開通、本区間のルート決定を心から願います。

これまでの経緯の説明

ワーキンググループ(WG)の提言

【以下の文章は、提言の要旨です。】

観光を中心とした地域経済へのメリットや能登の自然を後世に残すなどを優先し、C案をWGの総意としました。

地域経済の活性化・観光振興を重視し、道路利用者の地域への立寄りが期待できる道路とすべき。

自然環境………C案は自然改変量が少なく、貴重な動植物への影響も少ない。

事業費………C案の方が安く出来る。

事業期間………C案の方が早く開通できる。

家屋移転………C案の方が移転家屋数が少ない。

地域交通への影響……現在のDの利用と側道の整備により、R249は現在と同じように走ることができる。

意見交換

参加されたみなさまから、地域の将来への思いを込めた活発な議論が交わされました。

将来は能登空港への直結のことを考えたルートとすべき。和倉温泉へのアクセスが多少長くなっても気にならない。観光を主役としたみちづくりは、バイパス的に考えるべき。大きい経済効果を得るためなら、事業費は多少高くても良い。能越道を新たにつくったほうが、災害や事故の時の代替機能として期待できる。

C案に比べ走行距離が短いことから、排気ガスの削減になる。

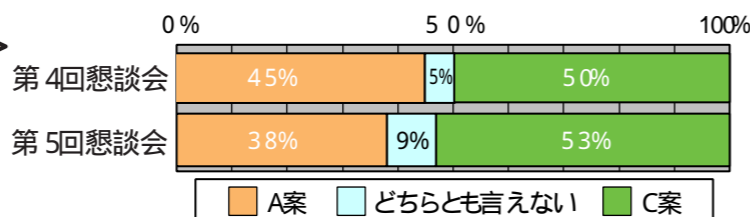
七尾市街地に近い位置にある方が地元にとって便利である。輪島や珠州へのアクセスが多少長くなっても気にならない。観光客がスムーズに目的地に到達することができる。経済的で早く開通できる道路である。歩行者等は、側道整備により、現在と同じように通行できる。救急活動にとって、市街地に近いことは良い。路面凍結や事故の対策をしっかりしてほしい。

A案

A案・C案についての  
主なご意見

C案

アンケート調査の結果報告



問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局  
金沢河川国道事務所 調査第二課

TEL 076-264-8800(代)  
FAX 076-233-9631  
E-Mail kanazawa-chou2@hrr.mlit.go.jp



七尾市 建設部  
能越道建設推進課

TEL 0767-53-8453  
FAX 0767-53-5160  
E-Mail noetu@city.nanao.ishikawa.jp



田鶴浜町 企画課

TEL 0767-68-3131  
FAX 0767-68-2009  
E-Mail kikaku@town.tatsuruhama.ishikawa.jp



みちづくり懇談会かわら版は、ホームページにも掲載しています。  
<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>



発行日 :H16.6.7

第5回

みんなで考えよう！これからのみち  
能越自動車道(田鶴浜~七尾)

5月28日(金)に開催しました。



みちづくり懇談会かわら版

- P IIによる住民参加のまちづくり -



このかわら版は、懇談会の内容を、皆さまにご報告するために作成しております。

過去最高の149名の参加がありました。



第5回懇談会の結果報告

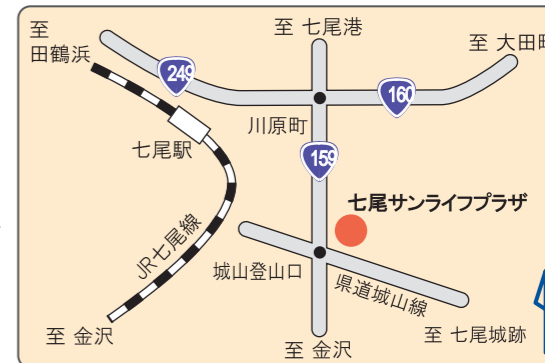
A・C案のルートの絞り込みに向け、WGで議論した結果を提言として発表しました。ルートの絞り込みの話し合いを行ったものの、1つのルートにはまとまりませんでした。

詳しくは、裏面をご覧ください

第6回みちづくり懇談会のご案内

日時：平成16年6月9日(水)  
午後6時30分から

場所：七尾サンライフプラザ 視聴覚室  
石川県七尾市本府中町ヲ部38番地



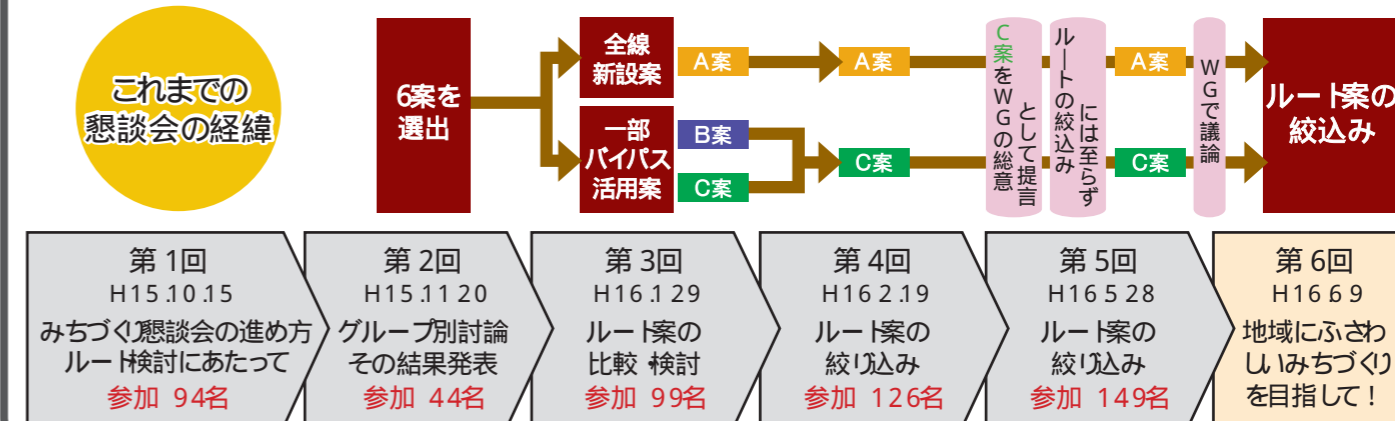
ルートの絞り込みを目指して!

2つのインターを最短で結ぶ道路  
A案

249号バイパスを活用する道路  
C案

最終的に地域にふさわしいみちづくりとなるよう、皆様のご意見がまとまることを目指します。

これまでの懇談会の経緯



WGは、ワーキンググループ